

スキルセット

- : 大学研究者に必要なスキル
- ▲: 大学研究者に推奨されるスキル

		成長ステージ					
		1. 研究テーマ設定・研究開始時	2. 研究成果獲得	3. 設立前・エンジェル	4. シード	5. アーリー～レイター	
知財面	発明発掘	発明のポイント		●	●	●	●
		新規性・進歩性について		●	●	●	●
	出願・権利化	特許/実用新案について	●	●	●	●	●
		意匠/商標について	●	●	●	●	●
		著作権について		●	●	●	●
		海外出願について			▲	●	●
	調査分析	技術動向調査※	●	●	●	●	●
		先行技術調査※		●	●	●	●
		侵害予防調査※			▲	●	●
		パテントマップ分析※	●	●	●	●	●
	知財戦略	IPランドスケープ※			▲	●	●
		独占/オープンクローズ/クロスライセンス/プールライセンス等の戦略の立案			▲	●	●
		出願戦略の立案		▲	●	●	●
		自己実施・ライセンスの判断			▲	●	●
	知財法務	営業秘密管理指針の策定			▲	▲	●
職務発明規程の策定				▲	▲	●	
知財活用(契約、権利行使、価値評価等)					▲	●	
ビジネス面	ビジネスモデルの構築			▲	●	●	
	資金調達			▲	●	●	
	知財デュー・デリジェンス			▲	●	●	

※ どのようなものであるかを知っている程度。実際に大学研究者自身が実施できるようになる必要はない。

研修カリキュラム

※スタートアップ設立等の社会実装を目指す大学の研究者を対象にした、スタートアップ設立のために最低限必要な知財面の知識・スキルを記載する。

JPP  
活用教材

	1. 研究テーマ設定・研究開始時	2. 研究成果獲得時	3. 設立前・エンジェル (概念実証の段階)	4. シード (スタートアップ設立・ 事業計画立案の段階)	5. アーリー～レイター (事業規模の拡大段階)
目標	1-a. 社会貢献と知財の関係性を理解する	2-a. 研究成果を社会実装に繋げるために必要な知財の基礎知識・スキルを身に付ける	3-a. スタートアップ設立のための知財戦略構築方法について学ぶ	4-a. ビジネス戦略に沿った知財戦略構築方法を身に付ける	5-a. ビジネスを軌道に乗せるために必要な知財知識・スキルを身に付ける
	1-b. 知財の基礎知識を身に付ける	2-b. 社会実装を意識した研究を進める上での注意点を理解する	3-b. 大学の研究成果のライセンスについて学ぶ	4-b. 知財デュー・デリジェンスについて学ぶ	5-b. 知財専門家の社内体制の構築について学ぶ
	1-c. 社会貢献を意識し、研究テーマ設定ができるようになる			4-c. 資金調達について学ぶ	
研究者に必要な 知財知識や 実践的スキル	1-a. 知的財産の活用方法・活用事例	2-a. 新規性・進歩性	3-a. スタートアップ設立のための知財戦略とは	4-a. 協業企業の探索方法	5-a. ビジネスモデルの構築方法
	1-b. 知財の基礎知識	2-a. 論文発表時の注意点や発表タイミング	3-a. 概念実証(PoC)とは	4-a. コア技術および周辺技術の侵害予防調査について	5-a. 競合の状況確認と知財戦略の修正について
	1-b. 研究成果と知的財産の関係	2-a. 発明のポイント	3-a. IPランドスケープ <sup>*2</sup> について	4-a. 社内規程について(職務発明規程・営業秘密管理規程等)	5-a. 事業拡大に必要な知財の確保(クロスライセンスの締結)
	1-b. 大学研究者の職務発明規程について	2-a. 先行技術調査とは	3-a. 海外出願について	4-b. 知財デュー・デリジェンスとは	5-a. 他社知財の回避および無効化について
	1-c. 技術動向調査に関する基礎知識	2-a. 先行技術調査の方法	3-b. 大学の研究成果のライセンスについて	4-c. 資金調達の基礎知識	5-b. 知財専門家の社内配置について
	1-c. パテントマップ分析 <sup>*1</sup> について	2-a. 特許明細書の書き方	3-b. TLOの役割	4-c. 資金調達を円滑に進める方法	
		2-b. 出口戦略の構築 2-b. 共同研究の有効的な進め方 2-b. 単独出願・共同出願について			
研修科目 (テーマ)	1-a. なぜ大学研究者が知財を学ぶのか？	2-a. 研究成果の権利化	3-a. スタートアップ設立のための知財戦略	4-a. スタートアップを成功に導く事業・知財戦略	5-a. 事業拡大に向けた事業戦略と知財戦略
	1-b. 大学研究者に必要な知財の基礎知識	2-b. 社会実装を見据えた研究の進め方および注意点	3-b. 大学の研究成果のライセンスについて	4-b,c. 資金調達のいろは	5-a. 知財リスクの低減
	1-c. 社会貢献を見据えた研究テーマの設定方法				5-b. 社内の知財体制の構築
研修内容	<b>1-a. なぜ大学研究者が知財を学ぶのか？</b>	<b>2-a. 研究成果の権利化</b>	<b>3-a. スタートアップ設立のための知財戦略</b>	<b>4-a. スタートアップを成功に導く事業・知財戦略</b>	<b>5-a. 事業拡大に向けた事業戦略と知財戦略</b>
	・大学研究者が知財を学ぶメリット	・新規性・進歩性とは	・知財戦略の基本(事業戦略における一要素として知財戦略があることについての説明含む)	・スタートアップを成功に導く事業戦略	・ビジネスモデルの構築方法
	・大学における知財の活用 成功/失敗事例	・新規性の喪失について(論文発表時の注意点や適切な発表のタイミングを含む)	・知財戦略の構築(事業戦略策定のための知財情報の活用・パテントマップ分析含む)	・侵害予防調査とは	・知財戦略の修正
	<b>1-b. 大学研究者に必要な知的財産の基礎知識</b>	・発明のポイントとは(研究成果と発明の違いについての説明含む)	・IPランドスケープについて	・社内規程について(職務発明規程、営業秘密管理規程の策定、競業禁止義務等)	<b>5-a. 知財リスクの低減</b>
	・知的財産とは(特許・実用新案・意匠・商標・著作権等)	・先行技術調査とは	・事業戦略と知財戦略の一体化による知財活用事例	<b>4-b,c. 資金調達のいろは</b>	・事業拡大に伴う知財のリスク
	・研究成果と知財の関係(研究で得られるデータに加えノウハウも知財になり得ること、情報系の分野ではプログラムが著作権としても扱われること、また、研究ノートの重要性について等を含む。※プログラムは特許にもなる)	・先行技術調査の方法(JPP活用教材2 1章「特許の検索」および2章「特許文献の読み方」を参照)	・海外出願について	・資金調達の基礎知識	・他社知財の回避および無効化について
	・大学の研究者の職務発明規程	・特許出願書類について(論文と特許明細書の違いについての説明含む)	・利益相反	・知財デュー・デリジェンスとは	<b>5-b. 社内の知財体制の構築</b>
	<b>1-c. 社会貢献を見据えた研究テーマの設定方法</b>	<b>2-b. 社会実装を見据えた研究の進め方および注意点</b>	・概念実証(PoC)とは(PoCの説明に加えて、PoCをする際の注意点も含む)	・知財デュー・デリジェンスへの対応	・知財専門家の社内配置について
	・研究テーマ設定時に意識すべきこと(知財面で)	・出口戦略の構築(研究成果の技術価値と事業価値についての説明含む)	・研究者がスタートアップを設立する際の注意点		
	・技術動向調査とは(研究者の特許調査活用については、JPP活用教材1 3章「研究者のJPP活用ケース」を参照)	・共同研究の進め方・注意点(共同研究前の棚卸についての説明含む)	<b>3-b. 大学の研究成果のライセンスについて</b>		
・パテントマップ分析	・単独出願、共同出願について(メリット・デメリットの説明含む)	・研究成果のライセンスとは			
		・大学発スタートアップ設立に伴うライセンス契約について(スタートアップ設立に伴う資金調達やビジネス展開への影響についての説明含む)			
		・大学のTLO(技術移転機関)の役割について			

注釈

\*1: パテントマップ:特許出願状況を調べて、自社事業の周辺領域に競合がどれだけいて、どのような技術開発や事業展開をしているのかを分析するマップ

\*2: IPランドスケープ:知財情報とマーケット情報を組み合わせて事業環境を分析し、新規事業開発・経営企画部門、経営層に対して戦略を提案するもの